

柏崎周辺地区(完了) 後谷ダム草刈り作戦

令和8年5月24日(日)午前8時00分～11時30分に新潟県柏崎市西山町別山で行われた後谷ダムの地元・後谷集落主催の「後谷ダム草刈り作戦」に7人(うち会員は1人)が参加しました。

5月24日(日)は、あいにくの雨模様の中“柏崎周辺(完了)地区後谷ダム草刈り作戦”が実施されました。この活動は、例年、春と秋に行われ、各シーズン2日間でダムの堤体と管理棟直下の斜面の草刈りを行うもので、今年度最初の取組となります。

後谷ダムのダム湖周辺は、自然豊かな環境が広がっており、隣接する自然体験施設にはキャンプ場やログハウスが整備され、地域の農業を支えるだけでなく、市民の憩いの場やアウトドアスポットとしても親しまれています。

筆者はNPO 田園21の取組としては初参加ですが、後谷ダムは思い出深く、柏崎農水でダム完成間近の平成21年から3年間勤務し、ダムの周辺整備や河川管理者による完成検査などを担当しました。当時は、工事のコスト縮減が強く求められおり、土地改良区からの維持管理軽減に向けた要望も、なかなか実現できなかつたことを覚えています。草刈りの対象である管理棟直下の斜面は、当時、ブロック等による法面保護を要請された箇所であり、実現できていれば草刈りも相当軽減されていたななどと複雑な思いをもちながら作業を行っていました。

草刈り開始したころは、雨模様でしたが天気も徐々に回復し、3度の休憩では、噴き出す汗を拭いながら、のどを潤す瞬間に生き返るような心地がしました。休憩中、束の間のあいだ、集落の参加者と交わした会話が深く心に残っています。それは、「これからのダム管理」が直面する厳しい現実です。著しい高齢化と管理者の減少のなかどう続けていくのか。ただ汗を流すだけでなく、地域のインフラを支える重みと、未来への課題を肌で感じる貴重な半日となりました。



参加者の集合写真



美しい後谷ダム湖



しばしの休憩